

第17回住吉病診連携カンファレンスのご報告

会期：平成29年8月26日（土） 16時半～18時

会場：スイスホテル南海大阪 8階「朱鷺」

上記次第にて「第17回 住吉病診連携カンファレンス」を開催致しました。

「住吉病診連携カンファレンス」は阪和住吉総合病院と阪和記念病院主催で日頃お世話になっている開業医の先生方・医療機関の方々を対象に年1回開催しております。

今回の発表は阪和住吉総合病院 外科 村西 耕太郎より1題、阪和記念病院 脳卒中センター長・脳神経外科部長 西野 鏡雄より1題、そして大阪医科大学 先端医療開発学 富永 和作特任教授をお招きし特別講演を行いました。地域の先生方からの質疑応答、カンファレンス後の情報交換会、アンケート等、貴重なご意見を多数いただき、盛況ののち終会致しました。

今後も、病診・病病連携をより密接にするため努力していく所存ですので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。総勢80名のご出席のみなさま、ご出席いただき誠にありがとうございました。

●講演1 座長／阪和住吉総合病院 消化器センター外科部長 渡辺 康則

『骨盤内膿瘍を合併し診断に難渋した直腸神経内分泌細胞がんの一例』

阪和住吉総合病院 消化器センター外科 村西 耕太郎



●講演2 座長／阪和記念病院 脳神経外科医長 森 康輔

『血腫形成型くも膜下出血に対する新たな治療戦略』

～神経内視鏡と血管内治療の Combined Surgery～

阪和記念病院 脳卒中センター長・脳神経外科部長 西野 鏡雄



●特別講演 座長／阪和住吉総合病院 院長 板橋 司

『胃がんのリスクと内視鏡診断』

大阪医科大学 先端医療開発学 富永 和作 特任教授



●閉会の辞／阪和住吉総合病院 院長 板橋 司

次回は2018年8月開催予定です。またのご参加を心よりお待ちしております。

阪和住吉総合病院 地域医療連携室

[会場の様子]

